

問 鶉野飛行場周辺道路整備事業の進め方について。

答 観光や防災拠点としての飛行場跡地利用を勘案しながら、県道玉野倉谷線と三木穴栗線を結ぶ幹線市道として整備する予定です。平成27年度の事業化を目指して、路線延長2.45キロメートルの道路を整備するための測量や道路調査設計を行います。

問 高速バスパーク＆ライド整備事業の場所や台数について。

答 泉バス停の北側の田を整備し、約30台の車両の駐車場と自転車置き場の整備を行います。

問 水道事業について、市川町との交渉はどのように進んでいるか。

答 交渉は加西市にとってよい方向で進んでいます。また、県水については、次回の料金改定に向けて、受水量をふやす予定の団体もあり、全体的な水量が上がれば、県としても値下げの方向性が出てくることから、話を詰め、県の企業庁へ要望していきたいと考えています。



消費者トラブル啓発事業「こども未然奉行」

本会議での討論

【賛成意見】

- 企業の元気度と経済の活性化が人口増につながる。そのため、雇用を確保するハローワークの充実と並行して、企業側の育成強化を図る施策がぜひとも必要である。
- 高齢化社会を迎えていく中、粗大ごみのクリーンセンター持ち込みについては、三、四町に1つ程度の拠点を設けて、定期回収するよう検討していただきたい。また、ごみ袋が半額となり、市民の負担を軽減できたことに慢心せず、ごみの量をふやさず、豊かな環境を次世代につなげていけるよう、啓発していただきたい。
- 旧下里小学校跡地に建設予定の住宅について、単に太陽光パネルを設置し売電可能とするのではなく、付加価値のある住宅地として、民間事業者と一緒に検討して取り組んでいただきたい。また、公金を投入して小学校区ごとに宅地を整備するのは、時代に逆行しており、改めていただきたい。
- 採算が取りにくい住宅造成や開発を、行政が特別会計を設けて手がける以上、地域の協力を得て、一日も早い区画整備を実現していただきたい。

【反対意見】

- 小野加東環境施設組合への参加について、頭から否定するものではないが、根拠に乏しい数字によって効果額が算出されていると感じる。政策は計画段階から市民に広く知らしめ、議論し、理解を得るべきであったと考える。
- 幼保統合計画について、市長が11校区全てにふるさと創造会議を立ち上げ、活性化を図るといのであれば、幼保の一元化はともかく、統合については今やるべきではない。地域が子育て支援をしっかりとやり、守っていくことも、市長の思いに沿うものである。
- まちづくりの推進について、画一的にふるさと創造会議を立ち上げるのではなく、地域事情に即した取り組みをすべき。負担がふえたり、目的がはっきりしない地域もある。また、補助金や地域担当職員の配置人数の公平性にも疑問が残るため、再考していただきたい。
- 播磨国風土記1300年祭事業について、多額の予算が実行委員会に委託されている割には、市全体、播磨地域への広がりを感じられない。全国にPRするためには、古事記や日本書紀の世界観を折り込み、事業内容を十分精査しながら実施すべき。